

研究会の名称変更ならびに施設会員制度の創設について

一般社団法人 日本心筋保護心保存学会(旧日本心筋保護研究会)

代表理事 山本浩史



皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本心筋保護研究会は、医師、技士を主とする有志で「医療安全、基礎的理解、心筋保護手技の向上、多職種連携」を軸に、関連3団体（日本心臓血管外科学会、日本心臓血管麻酔学会、日本体外循環技術医学会）との連携のもと2019年9月に結成され、2021年4月には一般社団法人化されました。また2024年9月には森田紀代造前代表理事の多大なる貢献により、日本胸部外科学会を含めた関連4団体とともに「開心術中心筋保護法の選択および実践のガイドライン」が編纂・発刊され、さらなる学術、教育、医療および社会活動事業への展開が期待される状況となっております。

そして新たな重要点として、我が国の心臓移植は法改正と国民の意識変容によって、その実施数が増加傾向にあり、将来的には心保存法や心臓移植中心筋保護法に関して検討すべき事項が次第に増加することが予想されます。そこで、今までのような開心術における安全な心筋保護法の確立に向けた基礎から臨床への包括的研究・社会活動に加えて、心臓移植における効率的かつ効果的な心保存や移植術中心筋保護を確立するための活動を進めて参りたいと考えております。

つきましては本年1月より「一般社団法人 日本心筋保護研究会」を「一般社団法人 日本心筋保護心保存学会」と団体名称を変更し、多部門横断的活動の立場を堅持しながら、本邦における心臓血管外科医療のさらなる発展に資するよう努力することにいたします。

そして、心臓血管外科実施施設による心筋保護法や心保存法への関わりを全国あまねく高めるため、現状の「個人会員制度」に加え「施設会員制度」を併設し、確実な全国調査の定期的実施や各施設の日常診療における様々な相談・問題解決に向けたシステム作りを進めたいと考えております。

新しい「日本心筋保護心保存学会」への皆様のご参画をお願い致しますとともに、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。